

## nano tech 2015 における NBCI の活動

2015年1月28日(水)～30日(金)、東京ビッグサイトにおいて「第14回国際ナノテクノロジー総合展・技術会議(nano tech 2015)」が開催されました。最終日に雪の影響はありましたが、世界最大のナノテクノロジー展示会として参加国数は過去最高の28カ国を記録し、同時開催15展合計で昨年を上回る約48,000名の来場者があり、この3日間はビジネスやネットワークの構築で大いに賑わいました。



図1. NBCIの展示ブース全景

ナノテクノロジービジネス推進協議会(NBCI)は後援団体として本展示会に参画しており、また、併設された3Dプリンティング展では共催をしています。ブース出展ではTIA-nano・筑波大学と連携した展示を行い(図1)、各界の要人を含めた数多くの方々にお越し頂きました。ポスター展示ではNBCIの各委員会活動、ナノテクノロジーが身近などんなところに使われているかを示す「ナノテク見える化」活動や「『第5期科学技術基本計画』策定に向けた提言」、会員企業および事業化支援を行っている中小ベンチャー企業の技術や製品の紹介展示も行いました(図2)。

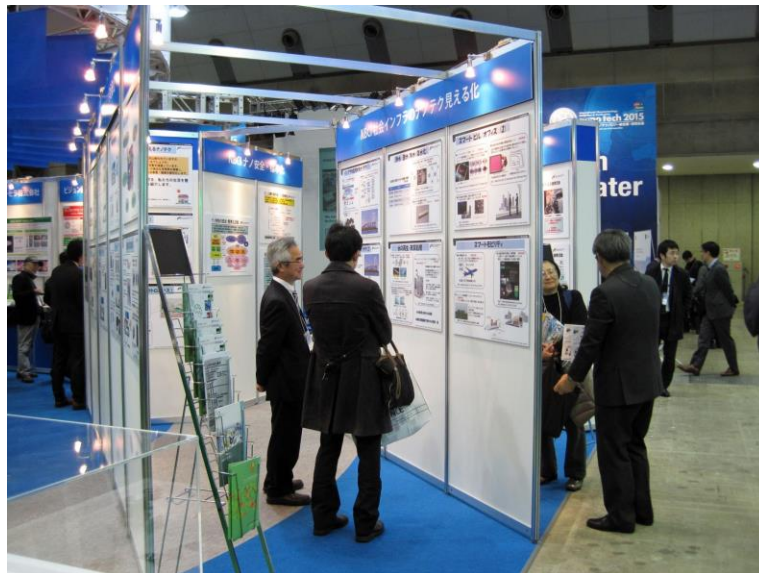


図2. NBCIブースでのナノテク見える化展示

29日の展示会終了後に、内閣府、経済産業省、文部科学省、(独)産業技術総合研究所(産総研)、(独)科学技術振興機構(JST)、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、(独)物質・材料研究機構(NIMS)、海外出展国、国内出展企業などの方々をご招待した、nano tech 実行委員会およびNBCI共催のナノビズ・ネットワーキングレセプションを開催し、国内外のナノテクノロジー関係者700名以上が一堂に会した交流の場として盛況の内に終わることが出来ました(図3)。



図3. ナノビズ・ネットワーキングレセプションでの鏡開き(物質・材料研究機構の潮田理事長による乾杯)

最終日の基調講演では、「NBCIのナノテクノロジー動向」(栃折早敏・NBCI事務局長)、「ナノテクノロジーとビッグデータが支えるバイオメティクス」(下村政嗣・千歳科学技術大教授)、「ナノバイオデバイス技術が拓く次世代医療・創薬・環境センシング」(竹内昌治・東京大学教授)、「私のセレンディピティー」(飯島澄男・名城大学教授)の4件の発表をメインシアターで行い、いずれの講演も会場に入り切れずに立ち見が出る盛況ぶりでした(図4、5、6)。

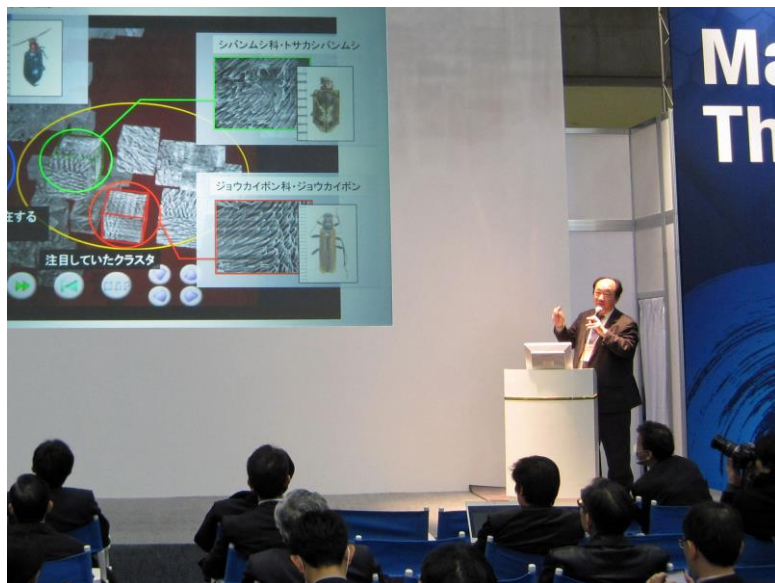


図4. 基調講演(下村政嗣・千歳科学技術大教授)





図 5. 基調講演（竹内昌治・東京大学教授）

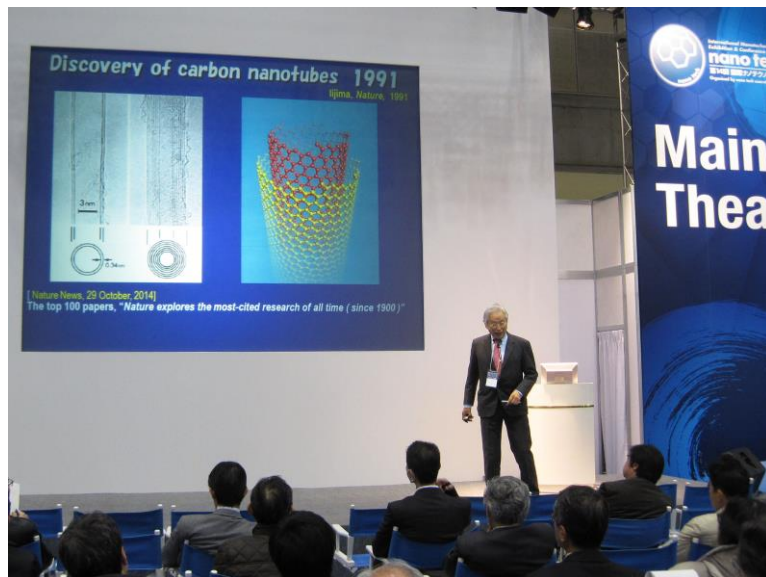


図 6. 基調講演（飯島澄男・名城大学教授）

また、海外のナノテク 8 団体を集めた国際会議を開催し、各国の動向など相互の情報交換を行うと共に親交を温めることも出来ました。

今回から始まった 3D プリンティング展では、NBCI の 3D プリント分科会協力の下、展示やセミナー講演をさせて頂きました。今までとは違う色とりどりの造形物や最新の装置デモなどもあり、多くの方が集まって好評だったことから、nano tech 展の新しい企画として来年も継続開催することになりました。

NBCI のブースや基調講演に立ち寄られた方々や協力して頂いた方々に感謝すると共に、また来年の nano tech 2016 に向けて皆様へ有用な活動を提供して行きたいと思っております。